

寅さん歩 その 26

東京の主要道路の起点～終点

永代通り－2



平野 武宏

道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」と歩いてきました。

今回は「永代通り」を歩いています。写真上右は現在歩いている永代通りの道路名標識（都道10号線）で日本橋交差点から都道10号線に変わりました。永代通りは千代田区大手町内堀通りの大手門交差点を起点に、永代橋で隅田川を渡り、江東区新砂三丁目清砂大橋西詰交差点に至る延長約7kmの道です。前回は起点から永代橋西交差点まで歩きました。

今回は永代橋から終点の清砂大橋西詰交差点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

[永代橋] 江東区永代一丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 門前仲町駅

隅田川の真ん中が中央区と江東区の区境です。前回は永代橋の中央区分の所まで渡りました。今回は江東区分に入り、永代橋を渡り切ります。

永代橋は1702年（元禄15年）には吉良上野介を討ち果たした赤穂浪士たちが両国橋を避け、この橋を渡って主君の眠る高輪の泉岳寺へ向かっています。

木製の永代橋は老朽化が判明し、幕府の財政難により1719年（享保4年）廃橋の予定としました。

しかし町民の嘆願で維持管理を町民の手で行うことで廃橋は中止となり、存続されました。その後、1807年（文化4年）深川祭で大勢の見物人による橋崩落の大惨事がありました。写真下は永代橋を渡り、江東区側から見た永代橋です。



〔佐久間象山砲術塾跡〕 江東区永代一丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 門前仲町駅



永代橋を渡ると左側に説明板がありました。「この地は佐久間象山が西洋砲術塾を開いた信濃国（長野県）松代藩下屋敷があった場所です。象山は松代藩士で、幕末の兵学者・思想家として著名です。・・・江川太郎左衛門に入門して西洋砲術を学びました。砲術塾の門下には勝海舟、吉田松陰、

坂本龍馬など多彩な人物がいます。吉田松陰が起こした密航未遂事件に連座して松代に幽門。その後、赦され京都に上りましたが、1864年（元治元年）尊王攘夷派浪士に暗殺され、54歳の生涯を閉じました」と記載（一部略）。

〔永代二丁目交差点〕 江東区永代二丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 門前仲町駅

永代二丁目交差点（写真下右）の左は葛西橋通り（都道475号線）の起点になります。終点は江戸川区東葛西三丁目です。永代通りは直進します。



[渋沢栄一宅跡] 江東区永代二丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 門前仲町駅



永代二丁目交差点の左側に説明板がありました。日本の資本主義の父 渋沢栄一は1876年（明治9年）深川福住町（永代二丁目）の屋敷を購入し、修繕して本邸としました。1888年（明治21年）兜町（中央区）に本邸を移したため、深川邸は別邸として使用されました」と記載（一部略）。

[門前仲町交差点] 江東区門前仲町一丁目

最寄駅 都営地下鉄大江戸線 門前仲町駅

門前仲町交差点（写真下右）で清澄通り（都道463号線）と交差します。左へ行くと両国方面、右へ行くと月島方面です。



〔成田山東京別院深川不動堂〕 江東区富岡一丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 門前仲町駅

商店街のアーケードを進むと左側に成田山東京別院深川不動堂の入口（写真上左）があり、左折して人情深川ご利益通りを進むと、千葉県成田市の成田山新勝寺の東京別院深川不動堂（写真下右）です。1703年（元禄16年）成田不動尊の出開帳が富岡八幡宮別当の永代寺で行われたのが始まりです。不動堂の左側にある深川公園が永代寺の跡地です。江戸六地藏の六番目の地藏はかつてはここにありました。寅さん歩 09 江戸六地藏めぐりをご覧ください。



〔富岡八幡宮〕 江東区富岡一丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 門前仲町駅

深川不動堂入口から右へ行けば富岡八幡宮の脇に出ますが、永代通りに戻り、表参道（写真下左）から入りました。1627年（寛永4年）当時の永代島と呼ばれた地に創建、周辺の砂州が埋め立てて広大な社地と氏子の住居を開きました。朝、地元の女子中学生が鳥居に一礼して通り過ぎて行った姿が印象的でした。表参道を入ると、すぐ左に伊能忠敬の像（写真下右）があります。歩いて日本地図を作成したウォーカーの大先輩です。



伊能忠敬は近くに住み、測量の旅の前には必ず富岡八幡宮にお参りしたそうです。正面が社殿（写真下左）です。深川八幡宮とも呼ばれ、深川祭（3年毎に開催）は江戸三大祭りの一つで水かけ祭（写真下右）として有名です。

寅さん歩 72 江戸・東京の祭—3 深川祭をご覧ください。

寅さん歩 42 健康ご利益めぐり—6 江東区—1 富岡八幡宮をご覧ください。



永代通りに戻り進むと、右側に写真下左の橋が見えました。家に戻り、調べると大横川にかかる東富橋で昭和 57 年架橋の単径間鋼製トラス橋とのこと。木場が近づくと左側に下木場檣一枚板看板（写真下右）がありました。説明板には「この付近は地域の俗名で下木場と呼ばれており、深川八幡の本祭りでは神輿を展示するお仮屋が設置されます。木場の川並（材木を河川でいかだに組み運搬する職人）文化と下木場という名を後世に伝えるために設置します」と記載。



〔木場五丁目交差点〕 江東区木場五丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 木場駅

木場五丁目交差点（写真下右）で三ツ目通り（都道 319 号線）と交差します。



三ツ目通りとは堅川に架けられた三之橋（三ツ目橋）に由来するとのこと。左へ行くと言問橋方面、右へ行くと辰巳方面です。交差点から後ろを振り返ると高速道路の風景（写真下左）、交差点先左は大横川（写真下右）です。



左へ行った木場公園で開催の木場の角乗を建学したことがあります。
寅さん歩 148 江戸・東京の祭—52（江戸東京の祭—24）をご覧ください。



[東陽町駅前交差点]

江東区東陽三丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 東陽町駅

東陽町駅前交差点（写真下右）で左は四ツ目通り（都道 465 号線）起点で、終点は墨田区京島一丁目です。



[日曹橋交差点] 江東区南砂三丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 南砂駅

手前にある貨物専用線を越すと日曹橋交差点（写真下右）で明治通り（都道 306 号線）と交差します。永代通りの終点も近くなり周辺の風景が変わります。



[駅入口交差点] 江東区南砂三丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 南砂町駅

駅入口交差点（写真下右）の左は丸八通り（都道 476 号線）の起点で終点は墨田区立花四丁目です。南砂町駅は左側すぐにあります。丸八通りの名は明治時代にこの通りにあった線香店に由来するとのこと。



〔清砂大橋西詰交差点〕 江東区新砂三丁目

最寄駅 東京メトロ東西線 南砂町駅

永代通りの終点の清砂大橋西詰交差点（写真下左）です。前方は荒川に架かる清砂大橋（写真下右）です。



交差点から来た道を振り返ると写真下左の風景です。清砂大橋通り（都道10号線）はここが起点で荒川・中川を渡り、終点は江戸川区東葛西九丁目です。



[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、現在はバーチャルウォーク松尾芭蕉とあるく「奥の細道」に挑戦しています。全行程約600里(約2400km)の長旅なので最後までたどり着けるか心配ですが、目標があれば元気に生きられると強がっています。

2022年4月26日、江戸深川(現在の江東区深川)を出発、2022年9月23日平泉(現在の岩手県西磐井郡平泉町)(江戸深川から726km)に到着しました。八柳さんのコースシートには、次の「奥の細道」本文の評釈と俳句の注釈が掲載されています。

藤原三代の栄華もわずか一睡の間の夢と過ぎ、今は廃墟と化した平泉の館の大門の跡は一里も手前にあって、往時の巨構を偲ばせている。秀衡の居館の跡は田野となって、かれの築かせたという金鶏山のみが昔の姿をとどめている。何よりもまず義経の遺跡高館に登ると、突如として北上川が眼下の視界に飛び込んでくるが、これは遠くの北のかた南部館より流れて来る大河である。・・・この高館の城に立てこもり、数々の功名もただ一時の夢と消えて、跡はただ茫々たる草原となってしまっている。「国破れて山河があり、城春にして草青みたり」と杜甫の詩を口ずさみつつ、笠を敷いて腰を下ろし、時刻の移るまで懐旧の涙にくれたことであつた。

「夏草や 兵(つはもの) どもが 夢の跡」

(注釈：往年、義経以下の勇士たちが、功名の夢をいただいて奮戦し、はかなくも一場の夢と消えた廃墟。その廃墟の上に、生えては枯れ、枯れては生えて、今眼前に茫々とおい茂る夏草は、人生の刹那の興亡と悠久の夢とを象徴しているかのようだ。)

「卯の花に 兼房(かねふさ) 見ゆる 白毛かな」 曾良

(注釈：おりからまっ白く咲き乱れている卯の花をながめると、その白く咲き乱れた花の中から、義経悲劇の最後を飾った兼房の姿が彷彿として浮かんでくる。あの、まっ白にふり乱したかれの白髪が。)

その後、中尊寺の経堂（清衡、基衡、秀衡の三将の像）・光堂（三代の棺を納め、弥陀三尊の仏像を安置）を訪れる。

「五月雨 降り残してや 光堂」

（注釈：この寺の建てられて以後、五百年にわたって年々降り続けてきた五月雨も、ここだけは降り残してであろうか、今、五月雨けむる空のもとで、光堂は燦然と輝き、かつての栄光を偲ばせていることだ。）

毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷して利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないよう、又それ以外の感染対策を怠らないようにお願いします！

平野 寅次郎 拝